

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 サラダコスモ					
代表者名	氏名	中田 智洋	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	岐阜県中津川市千旦林1-15					
主たる事業の分類	大分類	A 農業、林業				
	中分類	01 農業				
主たる事業の概要	もやし、スプラウト、カット野菜の生産。					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2325	1572	1706	1646	1716
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	5334	3435	3864	3684	3868
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	9		8	9	8
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	53				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度	計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
報告対象年度	平成 31 年度		

3 計画書（報告書）の公表方法等

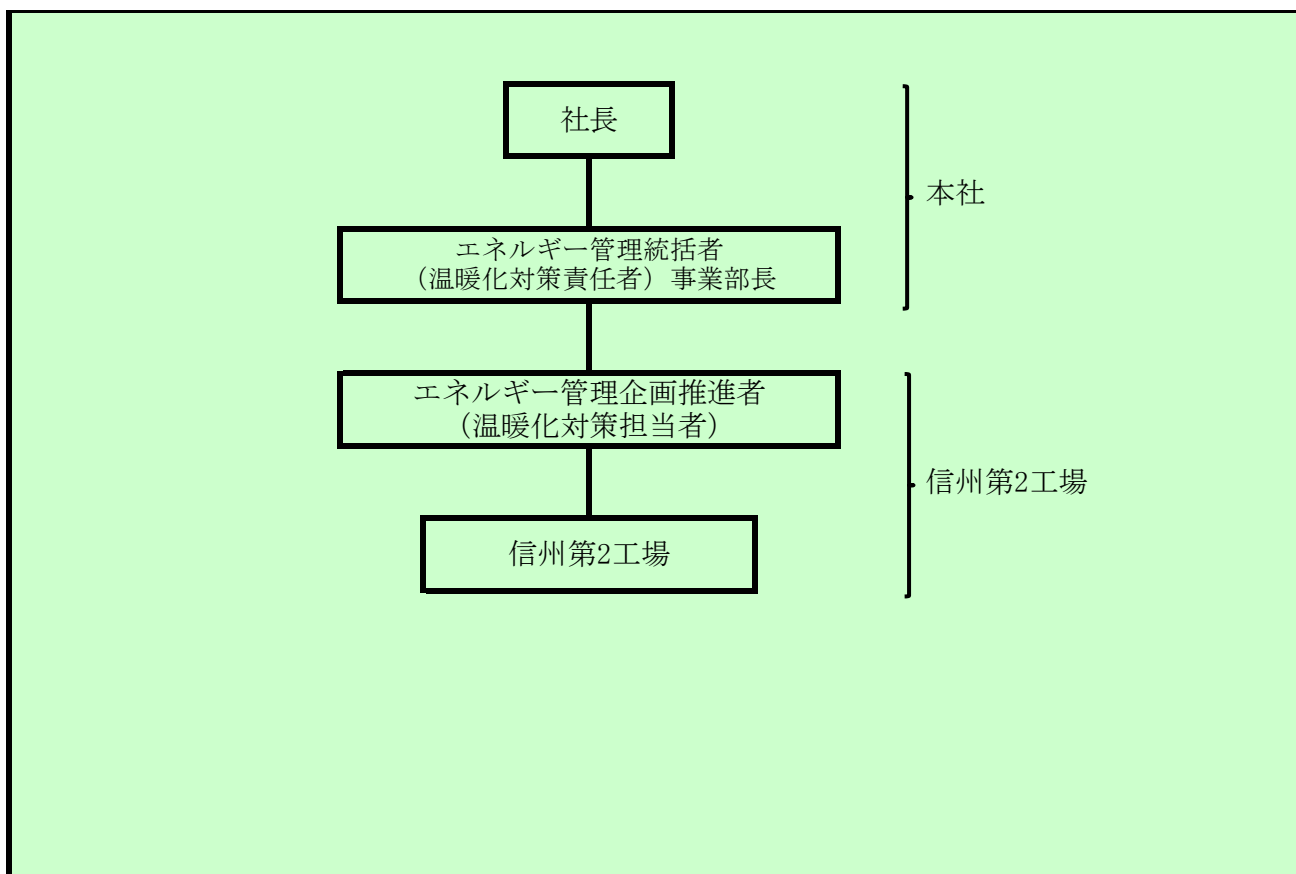
<input type="checkbox"/>	ホームページ	信州第2工場事務所にて掲示を行う。 対応部署 生産部 連絡先 0265-83-7211 閲覧可能時間 8:00～17:00
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

設備などの更新の際に環境への負担を軽減できるものを選択する。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

隔月1回の全体会議・工場長会議にて、必要に応じて省エネ・新規設備などを議題としている。

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	5,334	t-CO ₂	売上高	33.40	単位	億円	
28年度	調整後排出量	5,310	t-CO ₂	基準原単位	159.70	t-CO ₂ /	億円	
目標年度	目標排出量	3,435	t-CO ₂	目標原単位	137.90	t-CO ₂ /	億円	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
31年度	目標削減率	35.60	%	目標削減率	13.65	%		
目標設定に関する説明	<p>信州第一工場の稼働一時停止に伴い、二酸化炭素の排出量は抑制される。 (28年度 信州第一工場原油換算エネルギー使用量 753kℓ エネルギー起源二酸化炭素排出量 1792 t-CO₂) 目標原単位については信州第一工場が閉鎖し、原単位の指標となる売上高が変動するため、個別票の信州第2工場の目標原単位とする。</p>							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	3,864	t-CO ₂	売上高	28.80	単位	億円	
	調整後排出量	3,841	t-CO ₂	原単位	134.17	t-CO ₂ /	億円	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
29年度	削減率	27.55	%	削減率	15.98	%		
排出量等の増減理由	<p>信州第一工場稼働停止によりCO₂排出量が減少した。 信州第2工場単体では売上高の増加に伴いCO₂排出量で2%、原油換算エネルギー量で1.7%増加した。</p>							
第二年度	排出量	3,684	t-CO ₂	売上高	27.80	単位	億円	
	調整後排出量	3,665	t-CO ₂	原単位	132.52	t-CO ₂ /	億円	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
30年度	削減率	30.93	%	削減率	17.01	%		
排出量等の増減理由	<p>信州第一工場は引き続き稼働停止中であるが、井戸ポンプ、散水設備、小型貫流ボイラー、冷凍機等、完全に停止できない設備もあり、199 t-co₂の温室効果ガスの排出がある。必要最小限の稼働に抑える。 信州工場については原単位の指標となる売上高が前年比96.5%となり、それに伴い原油換算kℓも前年比97.1%と低減したが生産作業など効率化を進め、目標数字に近づきたい。</p>							
第三年度	排出量	3,868	t-CO ₂	売上高	29.51	単位	億円	
	調整後排出量	3,843	t-CO ₂	原単位	131.07	t-CO ₂ /	億円	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
31年度	削減率	27.48	%	削減率	17.92	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<p>信州第一工場において再稼働計画がある。 照明設備のLED化。高圧受電設備の更新を2020年度に行う予定。 信州第2工場においては売上増の影響で約5%排出量が増加した。A重油の使用が増えているが、冬場にもやし栽培室の室温を維持するためエンネツの稼働時間が増えている。野菜栽培に直結する部分で削減は厳しいが設定室温を調整しながら使用を抑えていく。</p>							

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	53	t-CO ₂			
28年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
29年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	380701照明施設の省エネタイプへの更新	29	22	29	10
2	エネ起	329999熱交換後の温水の有効利用	29	33	29	33
3	エネ起	150105デマンド管理によるピークカット			29	30
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	19		19	23	25
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,542	1	3,625	1	3,485	1	3,669
1,500k1未満	1	1,792	1	239	1	199	1	199
合計	2	5,334	2	3,864	2	3,684	2	3,868

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	9	8	9	8
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	なし
その他	

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	マイカー通勤率96.5% 工場立地が交通の便が悪いため実施しておりません。
公共交通機関の利用促進	出張時の公共交通機関の利用。
来客者の交通対策	なし
物流の合理化	各方面の荷量を調整し空荷など無駄をなくしている。

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	なし	
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	構内緑化 ミスプリント・不要なファックスの裏面を社内で利用している。
第一年度実績	構内緑化 ミスプリント・不要なファックスの裏面を社内で利用している。
第二年度実績	構内緑化 ミスプリント・不要なファックスの裏面を社内で利用している。 社内文書の送付など古封筒を使用している。
第三年度実績	構内緑化 ミスプリント・不要なファックスの裏面を社内で利用している。 社内文書の送付など古封筒を使用している。

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量 (tCO ₂)
基準年度以前の取組み	照明器具の交換を実施中。 環境に配慮した機械、設備の導入。	
その他		